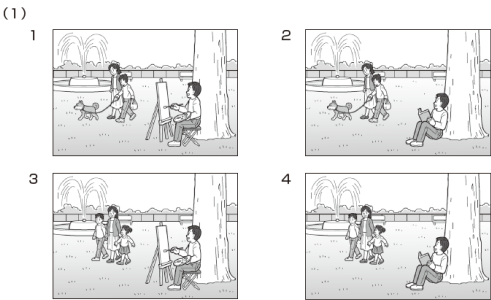


【中学校英語】授業実践アイデア例（聞くこと）

問題番号 1 ある情報を描写する英語を聞き、情報を正確に聞き取ることができる。 正答率 54.7%

1 これから、短い英文と対話を放送します。その内容を最も適切に表している絵を、それぞれ次の1～4の中から1つ選び、その番号を書きなさい。



解答類型	反応率	正答
1と解答しているもの	35.1%	
2と解答しているもの	54.7%	◎
3と解答しているもの	6.1%	
4と解答しているもの	3.9%	
その他・無解答	0.2%	

(スクリプト)

Last week, I went to a big park with my family, and I took this picture. My father is reading a book under the tree, and my mother and brother are walking with our dog, Momo. I like this picture very much. (42 words)

解答類型1に該当する生徒は、My father is reading a book を正しく理解できず、その後の with our dog, Momo が強く印象に残ったと考えられる。また、一文目の I took this picture.の意味を「絵を描いている場面」として誤って捉え、自分が絵を描いていると勘違いしたことが、誤答の要因となったと考えられる。

問題番号 3 日常的な話題について、対話を聞き、対話の概要を捉えて適切な応答を選ぶことができる。 正答率 25.2%

2 英語の対話を聞き、その流れに合う応答の文を選ぶ問題です。(1)、(2)の対話の最後にチャイムが鳴ります。チャイムの部分に当てはまる最も適切な応答の文を、それぞれ次の1～4の中から1つ選び、その番号を書きなさい。

- (1) 1 Yes. I like soccer very much.
2 Yes. I like singing with a guitar.
3 No. I can't play soccer well.
4 No. I don't have a guitar.

解答類型	反応率	正答
1と解答しているもの	9.7%	
2と解答しているもの	25.2%	◎
3と解答しているもの	35.4%	
4と解答しているもの	29.1%	
その他・無解答	0.6%	

(スクリプト)

(1) Boy: I often play soccer in my free time. What do you do in your free time?
Girl: I like music, so I practice the guitar every Sunday.
Boy: You play the guitar! I have mine at home, too.
Girl: Can you play it well?
Boy: (チャイム) (41 words)

解答類型3に該当する生徒は、対話の概要を把握できず、チャイムの前の Can you play it well?に反応して、can't を用いている選択肢を選んだと考えられる。また、解答類型4に該当する生徒は、I have mine at home, too.の意味を捉えることができず、誤って選択したと考えられる。

学習指導要領では、「聞くこと」は単に音声を理解するための技能(知識・技能)にとどまらず、得られた情報をもとに思考・判断・表現し、主体的に学習に取り組む態度を育成するための重要な手段として位置付けられています。今回の調査結果からは、ある程度まとまりのある英文の情報を正確に聞き取ることや、対話等の概要を把握することに大きな課題が見られました。学習指導要領に示される「聞くこと」の目標(ア～ウ)の前には、「はっきりと話されれば」という前提が置かれており、その上で「必要な情報を聞き取ること」「話の概要を捉えること」「短い説明の要点を捉えること」が求められています。

今回の調査結果を踏まえ、「聞くこと」に関する授業改善の視点を以下に示しますので、自校の授業実践と照らし合わせ、今後の改善に役立てていきましょう。

【「聞くこと」における資質・能力を高める指導のあり方】

◎大前提：年間を通した毎時間の小さな積み重ね（Listening は1度の授業では力はない。）

各学年、年間140時間の授業内で生徒が英語を「聞く」時間を十分に確保すること。

→教師の英語使用について、質と量の両面から見直しを図る。（授業は英語で行うことを基本とする。）

→授業構想段階からゴールを ALT と共有したり、生徒一人一人と ALT との直接的な言語活動の機会を増やしたりするなど、ALT の積極的な参画を図る。

→デジタル教科書やリスニング問題の音声データ等を活用し、自然な口調で話される英語を聞く機会を増やす。

1 目的・場面・状況を踏まえた「聞き方」と「応答」の指導

聞く活動を単なる音声理解にとどめず、話し手の意向を理解するために、コミュニケーションの目的に応じた聞き方の充実を図る。

→目的・場面・状況の明確化：音声を流す前に、「何のための会話か（目的）」「どこで・誰と話しているか（場面・状況）」等を明示し、話の内容を予想させたり、どんな情報が必要か考えさせたりする活動を取り入れる。

→情報の整理と意図の把握：すべての語句を理解しようとするのではなく、重要な情報（キーワードや要点）や話し手の意図（意向や考え）を聞き分けられるようにする。具体的には「メモの取り方の指導」「キーワードの聞き取り方の指導」「話の概要や要点をまとめる指導」などを取り入れる。

→聞いた内容を踏まえた判断と表現：聞いた内容を理解した上で、その場面・状況にふさわしい応答（「どのように返すのが自然か」）を思考・判断する場面を設ける。また、応答の選択肢を比較したり、ペア活動等で「場面にあった応答」を判断したりする活動を通して、「聞くこと」と「話すこと」の統合的な言語活動を意識する。

2 多様な英語に慣れる機会とまとまった内容の理解

正確に情報を聞き取るための基礎として、自然な英語に触れさせ、音声や語彙等の知識を実際のコミュニケーションの場で活用できる技能へと高める。

→自然な音声への慣れ：普段から自然な口調（正しい強勢やイントネーション、区切りを伴う自然な速さ）で話される音声に触れる機会を多く設ける。小学校での学びを踏まえ、中学校1年生の段階から Classroom English を発展的に活用し、授業を英語で行う。Teacher's Talk や ALT による簡単なスピーチを意図的に組み入れる。

→まとまりのある英文の理解：単語の聞き取りに頼らず、全体の流れや意図を理解できるように指導する。そのために、ある程度まとまった英文や対話を意図的に聞き取る活動を増やし、「必要な情報」、「概要」、「要点」を聞き取る力を育成する。

→音声の特徴を意識した指導：英語特有の音声的特徴である音のつながり、強勢、イントネーションなどについて意識的に指導を行う。チャンク（意味のかたまり）で聞く練習や、リズム・イントネーションをまねる活動を通して、知識を実際の技能として定着させていく。

3 聞くプロセスの評価と振り返り

生徒自身が「聞くプロセス」に目を向け、「どうすれば理解できるか」を考える機会を授業に取り入れる。

→教師のフィードバック：「どの部分で話の展開が分かった？」「単語が分からなくても、文脈から意味を推測できたかな？」など応答の正誤だけではなく、生徒とのやり取りを通して生徒の実態を把握する。また、「最初に目的を意識して聞いていたのがよかったね。次は、聞き取れなかったところを絵や図と照らし合わせてみよう。」など次への具体的なアドバイスを心がける。（段階に応じて英語でのやり取りに発展）

→聞く過程の振り返り：聞いた後に「どの部分で理解できたか、どの部分が理解できなかったか」を振り返り、聞き取りの視点を生徒が理解した上で、再度英語を聞く機会を設ける。

【普段の授業場面における「聞くこと」に関する指導のポイント】

★単元のゴール

ALT にオーストラリアと釜石の夏にできることを伝えるために、オーストラリアについて書かれた対話文を読み、読んだことをもとに、英文を引用しながらオーストラリアと釜石の夏について紹介することができる。

★単元計画(主な活動内容)

1	●There+be 動詞を用いて、釜石市のおすすめの場所やものをレンさんに紹介する。
2	●交通手段を尋ねる表現を理解し、どのように目的地に来るのか友達とやりとりをする。
3	●オーストラリアについて話す2人の対話文を読み、読み取ったことをもとにオーストラリアについて紹介する。
4 (本時)	●オーストラリアの夏について話す2人の対話文を読み、読み取ったことをもとにオーストラリアの夏にできることを紹介する。
5	●自分の考えを相手にわかりやすく伝えるために、話をきちんと構成する。
後日	パフォーマンステスト等 ●1時～5時の学びを生かし、ALT にムービーを送る。 ●文構造に関するテスト(知識・技能)

★本時の指導計画(4/6時間目)

指導過程	学習内容	学習活動	指導上の留意点
導入 10分	1 前時の復習を行う。 2 学習課題を確認 する。	1 前時で読み取ったことをもとに、What is famous in Australia?の質問に答える。 2 オーストラリアの夏にできることをまとめるという本時のゴールを共有する。	復習場面では、前時学習した教科書の内容についてQ and Aなど、意図的に「聞くこと」の指導を取り入れます。その後、内容を想起させた上で、生徒同士のアウトプット活動へ繋がります。
展開 35分	学習課題 オーストラリアの夏にできることを読み取り、読み取ったことを伝えよう。 3 真央、健、エミリーのやりとりの内容を理解する。	3 3人のやりとりを聞き、内容を理解する。 ・「エミリーがオーストラリアの夏にすること」を聞き取る。 3人のやりとりを読み、内容を理解する。 ・「オーストラリアの夏にできること」を読み取る。 ・「なぜ健が“It's cool.”と言ったのか」について考え、読み取りを深める。	・聞き取りの際は、英語と文字が結びつきやすいようにする。 ・答えの根拠を、生徒とのやりとりの中で明確にする。
	4 本文の音読 をする 5 オーストラリアの夏にできることを伝えられるようにする。 6 オーストラリアの夏にできることを書く。	4 タブレットを使用して本文の音読練習を個人で行った後、ペアで音読する。 5 レンさんに伝えられるように練習をする。 ①個人で構想し、練習をする。 ② ペアで説明 を仕合う。 ③中間振り返りを行い、次のペア活動につなげる。 ④ペアを変えて説明し合う。 6 ペアでやりとりした内容をワークシートに書く。	・練習の際は、デジタル教科書を使用したり、ペアで練習をしたり、練習方法を生徒が考える。
終末 5分	7 振り返りをする。	7 分かったことや分からなかったこと、これからやってみたいことを具体的に記述する。	ペアやグループ活動において、生徒がアウトプットする場合も、聞き手側に聞く目的（ここでは、本文のretellingの活動なので、話された順序や付け加えていることに注目させること）を意識させることが大切です。

デジタル教科書を活用して、さまざまな音読練習に取り組むことが可能です。音のつながりや強勢・イントネーションなど、英語特有の音声的特徴を意識するとともに自然なスピードでスラスラと読む事ができるようにすることが大切です。

さらに、本文の中で大切なこと(要点)は強く読むなど内容と音読が連動するように指導することも重要です。(全てを強く読めばいいということではありません。)

Readingの時間であっても、内容の要点を聞き取らせる活動を行う事が大切です。聞く目的、何について聞き取る必要があるかを明確にします。

What can we do in Australia in summer? Why did Ken say "It's cool."? など読み取ったことについて英語のやり取りで確認していくことで、自然に生徒は英語に触れることとなります。



【関連指導資料】 事例1 自分の置かれた状況などから判断して必要な情報を聞き取る

映像資料



指導資料



(令和7年3月 国立教育政策研究所)

【中学校英語】授業実践アイデア例（書くこと）

問題番号 13 社会的な話題に関して読んだことについて、自分の考えを書くことができる。


正答率 19.8%

- 8 次の文章は、ある海外のウェブサイトに投稿された文章です。これを読んで、あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

Many people *throw away old things and buy new ones. In Japan, each *person makes about 900 *grams of *trash every day. That's a lot, and this isn't good for the *environment. What can we do? One idea is *reusing old things.

Reusing is to use old things *in a new way. For example, my friend Emma has a nice bag, and it's *made from an old T-shirt. I asked her about the bag.

Emma: The T-shirt was a birthday present from my parents, and it had a picture of our dog on it. I loved it, but *one day it *became too small. I was very sad. Then, my family made a bag from this shirt. Now, I use the bag every day. I can use my favorite shirt in a new way, so I'm happy.



Like this, many people reuse their old things in a new way.

Some people don't like reusing. They don't like using old things. Of course, buying and using new things is fun, but having old things has a special *value. It's good for the environment, too. If we always throw away old things and buy new ones, we will make too much trash. We hope more people reuse their old things.

Do you want to use your old things in a new way? Why or why not?

正答率 19.8%

誤答率 33.6%

無解答率 46.6%

(2) 下線部の質問に対するあなたの考えと理由を、英語で簡潔に書きなさい。

誤答例（抽出解答用紙より）

- Yes, I do. In a new way good for the environment.
- Yes, I do. I think important environment.

→最初の質問に答えることはできているが、理由について基本的な語や文法事項等を理解して正確に書くことに課題があると考えられる。

- This is happy.
- I want to use my T-shirt.

→文章の内容を正確に把握することができていない、または自分の考えとその理由を書くために必要な表現が身に付いていないと考えられる。

- 無解答

→文章の要点（書き手の最も伝えたい内容）を把握することに困難を抱えており、よって何を書けばよいか分らないと考えられる。

「書くこと」ウの目標では、聞いたり読んだりしたことの要点を捉え、その内容に関して自分が考えたことや感じたことを、その理由も交えて書くことができる力を身に付けさせることが示されています。そのためには、話題となっている内容を聞いたり読んだりして理解し、それを基に思考・判断したことについて、自分の考えや気持ちなどを主体的に伝え合う言語活動を設け、その発話内容を整理しながら書くといった領域間の統合を図ることが重要です。

今回の調査問題の場合、解答例（I think that it's good for the environment.）を導き出すために、質問文の一つ前の段落の表現（It's good for the environment.）を引用することで、自分の意見や考えを書くことにつなげることができます。このように、読んだ文章に書かれた表現を用いるための手立てを講じていく必要があります。

【「書くこと」における資質・能力を高める指導のあり方】

1 指導の基本的な考え方：言語活動を通じた育成

「書くこと」の資質・能力は、「知識及び技能」を活用し、「思考力、判断力、表現力等」を育むために、具体的な言語活動を通して育成されます。単なる知識の詰め込みではなく、「外国語を使って何ができるか」という視点が重視されています。

2 指導の系統性

「書くこと」の指導は、学校（学年）段階に応じて系統的に深まっていきます。中学校では、小学校での学びを踏まえ、日常的・社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにすることを目指します。スモールステップで着実に指導内容を積み上げていくことが有効です。

3 複数の技能を統合した言語活動について

「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」の5つの領域にわたる活動をできるだけ関連させながら指導計画を作成することが大切です。

『中学校学習指導要領解説 外国語編』にも5つの領域別の目標を踏まえながら、複数の領域を効果的に統合した言語活動を行うことが大切であると示されています。

複数の領域を統合した言語活動の具体的な例としては、

- ・「聞いた」内容について「話す」活動
- ・手紙などを「読んで」その返事を「書く」活動
- ・「読んだ」内容について、感想や賛否とその理由を「書く」活動

などが挙げられます。聞いたり読んだりする活動でインプットした後、その内容を基に話したり書いたりする活動があると、「この表現を使おう」などと考えながら学び、知識の統合が起こりやすくなります。

【「書くこと」における指導を見直す際の視点】

○目的や場面、状況等が明確に設定された言語活動となっているか

例 読んだことを基に自分の考えとその理由を書く指導の充実

- ・読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解したことを基に、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて表現する指導となっているか
- ・言語活動を行うに当たっては、読む目的に応じて要点を捉えた上で、内容に対する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなど、領域を統合した言語活動を行っているか
- ・読み取り後にQ&Aを行ったり、発問の工夫（事実のみではなく、行間等から気持ちを読み取らせるもの）を行ったりするなど、指導構成を吟味しているか
- ・「伝えたい内容（内容面）」と「内容を表すための言語表現（言語面）」の両方についての不安を取り除き、書くことへの心理的ハードルを下げるなど、無解答を減らす手立てが講じられているか

【言語活動例】

- ・教科書に取り上げられている話題に関する自分の意見や感想などを、スピーチの形式や、新聞やホームページなどへの投稿文の形式で書く活動
- ・他教科等でも扱われる自然環境、世界情勢、科学技術、平和などの話題に関して読んだ内容を踏まえて、内容に関する感想、賛否やその理由などを書く活動
- ・日常的・社会的な話題について、ALTからの伝言を聞いたりe-mailを読んだりして、メッセージや返信を書く活動

「英語で何ができるようになるか」を示したCAN-DOリスト形式の学習到達目標を、生徒と教師が共有し、**複数の技能を統合した言語活動の一層の充実**を図ることがポイントです。

読んだことについて自分の考えを書くことは、年間を通じた日々のこまめな指導が大切です。まずは日常的な話題から、そして、一文から書くことをスタートさせましょう。



【普段の授業場面における「書くこと」に関する指導のポイント】

1 単元の目標を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を明確にする。

「SDGs に興味がある ALT に、普段取り組んでいる省エネ対策について自分の考えを書こう」
T: What do you usually do to save energy?

2 海外滞在中の ALT からの e-mail を読む。（滞在中の国で、家族で省エネの取組を行っているという内容）

読み取りの際の視点（ALT がしていること等）を具体的に伝える。★目的意識をもって読み、書く活動にスムーズに接続することにつなげるため。

Dear students,

I hope you are all doing well. I'm writing to share what my family and I are doing to save energy while living abroad.

At home, we turn off the lights when we leave a room. To save water, we turn off the tap while brushing our teeth. We also try to stay cool in the summer by using fans instead of air conditioning. These small habits help us save energy and take care of the environment.

How about you? Are you and your family doing anything to save energy at home? I would like to hear about your efforts!

3 ALT に対して、テーマに関する自分の意見を伝えるためにまとまりのある文章を書く。

書いた英文が ALT からの質問に対して適切な内容になっているか、また、正確に書くことができていないかを、中間振り返りを入れながら指導する。★ALT に英文をチェックしてもらうなど、ALT の参画を図ることが大切です。

4 書いた文章を友達と読み合い、内容面と言語面から自分の文章を構成し直す。（グループワーク等を通して深める）

T: What are the good points of your partner's writing?

S: ALT からの質問に対する自分の答えが最初にしっかり書かれていたので、内容が理解しやすかったです。私は書いていなかったもので、真似したいと思いました。

T: Good. How did he write it in English?

S: He wrote "I try to save electricity at home."

I will use his idea.

★書いた英文に対して教師がフィードバックを与えたり、他の生徒からコメントをもらったりすることが大切です。

引用・参考

友達の表現からの気づき

(1 時間目)

I turn off the lights.

(単元終了時)

I try to save electricity at home. I always turn off the lights when I don't need them. I also turn off the TV when I'm not watching it. In summer, I sometimes use a fan instead of the air conditioner. My family and I usually use eco bags when we go shopping. These things save energy and protect the environment.

Let's continue our efforts!

○関連する問題

問題番号	出題の趣旨	正答率	二次元コード
R5 全国学力・学習状況調査 問題番号 8(2)	社会的な話題に関して読んだことについて、自分の考えを書くことができるかどうかを見る。	県 12.3% 全国 20.1%	